

郷土にまつわる歴史講座
(協力..明治文庫の会)

北海道に残された 香川県人の痕跡

～紙の記録と石の記録～

香川県立文書館専門職員

講師 嶋田典人氏



日時 令和7年7月27日(日)

午後1時30分～3時

場所 マルタス1階多目的ホール

定員 60人 ※予約不要・先着順

料金 無料

問合せ 丸亀市立中央図書館

TEL0877-22-3746



北海道登別市刈田神社の絵馬

香川県は北海道から遠隔地であるにもかかわらず、徳島県とともに北海道への移住者が多い県で、近代においては全国府県中絶えず 15 位以内に入っている。主に農業開拓による移住である。一方、近世以来の北前船の寄港地栗島において、栗島廻船の船主が北海道に進出している。北海道立文書館等の公文書、市町村図書館等の開基周年記念誌、神社に奉納された絵馬、燈籠や手水鉢など石造物に刻まれた人名等は香川県人の移住がわかる貴重な記録である。



北海道登別市刈田神社の燈籠